

尾鷲市地域公共交通網形成計画（案）に対する意見の概要及びそれに対する尾鷲市の回答

No.	意見箇所	項目	意見の要約	尾鷲市の回答
1	第6章 計画の目標と方針 6-5 公共交通ネットワーク再構築の方針	P47 【将来ネットワーク】	八鬼山線で小脇発になると三木里の病院等の利用及びJR三木里駅から下り方面の利用が出来なくなる。	ふれあいバスは、病院や買い物などの利用者が大半であり、市街地と地区センター管内を結ぶことが重要と考えております。また、JR尾鷲駅での南紀特急との接続や路線の重複などを考慮しているため、三木浦地区と三木里地区との接続についてはスクールバスの利活用を含めて検討しております。
2	第5章 課題の整理 5-2 地域別の課題	P36 【ハラソ線のルートとダイヤについて】	梶賀発のふれあいバスで、賀田奥と名柄2ヶ所増える事によってダイヤに変更が生じると、例えば、尾鷲の病院前の到着が遅れると利用者に影響が起きる。時間差を最小限にとどめてもらいたい。	賀田奥と名柄の乗り入れによって、運行時間が伸びることになりますが、ダイヤ変更については、現在の利用者になるべく影響がでないように時間差を最小限にとどめたいと考えております。
3	第7章 目標を達成するための事業	P48 【公共交通(バス等)について】	高齢化によって自家用車の活用がますます減る中であって、買い物弱者や病院など、高齢者にとってはどうしても現在のダイヤから後退してはいけない。	市民アンケート結果からも、現在の公共交通を維持していくことが必要と考えており、ふれあいバスを含めた公共交通網について、確保・維持・改善を図ってまいります。